USPTO 最高 AI 責任者にジョナサン・スペンサー氏が就任

2026 年 9 月 22 日
JETRO NY 知的財産部
角張、赤木

USPTO は、9 月 22 日付のプレスリリース[1]で、同庁における最高 AI 責任者（Chief Artificial Intelligence Officer: CAIO）にジョナサン・スペンサー氏が新たに就任した旨を公表した。

プレスリリースによれば、スペンサー氏は、今般の CAIO 就任以前の 4 年にわたり「Waymo」において自動運転車に関する最先端の技術開発に従事しており、周囲の人物等の行動態様・道路状況に照らし様々な走行判断の結果を予測する AI モデルの開発を行っていた。また、同氏については、ヘルスケア分野や電気通信分野における複数の AI 関連スタートアップで共同設立者・最高技術責任者を務めるなどリーダーシップを発揮した経験も有していると説明されている。

今後、スペンサー氏は、USPTO の CAIO として AI・先端技術に関する事項を所管し、USPTO における AI 関連技術・システムの開発や実装とともに、同庁における AI 関連ポリシーの形成にも関与することになる。
スクワイヤーズ USPTO 長官も、AI・機械学習・先端技術に関する豊富な知見を有するスペンサー氏の CAIO 就任は、USPTO におけるシステムやワークフローの近代化に向けた取り組みに大きく貢献するものであると歓迎するコメントを寄せている。

なお、USPTO の CAIO については、2025 年 5 月に初代 CAIO ジェリー・マー氏[2]が退任し、同年 12 月からはロバート・ヘイズ氏が CAIO 代行を務めていた。

（以上）

---

[1] Jonathan Spencer appointed to role of Chief Artificial Intelligence Officer for the USPTO

[2] 現 Perplexity AI 社（Vice President of Global Affairs／Deputy CTO）